



2014
年度

高知市の予算概要

—希望と絆を未来につなぐ高知市をめざして—

2014年3月 高知市

2014年度

高知市予算概要

CONTENTS

主な項目	3
①共生の環	4~5
②安心の環	6~8
③育みの環	9~12
④地産の環	13~15
⑤まちの環	16~18
⑥自立の環	19

平成26年度 市民1人当たりの一般会計予算額

消防に

13,091円



借入金の返済に

79,487円



福祉などに

208,422円



健康に

17,380円



平成26年度
市民1人当たりの一般会計予算額

437,922円

(人口338,645人)

清掃に

14,334円



教育・文化に

32,633円



商工業、農林水産業に

12,957円



窓口サービスなどに

28,338円



道路や河川、公園、住宅に

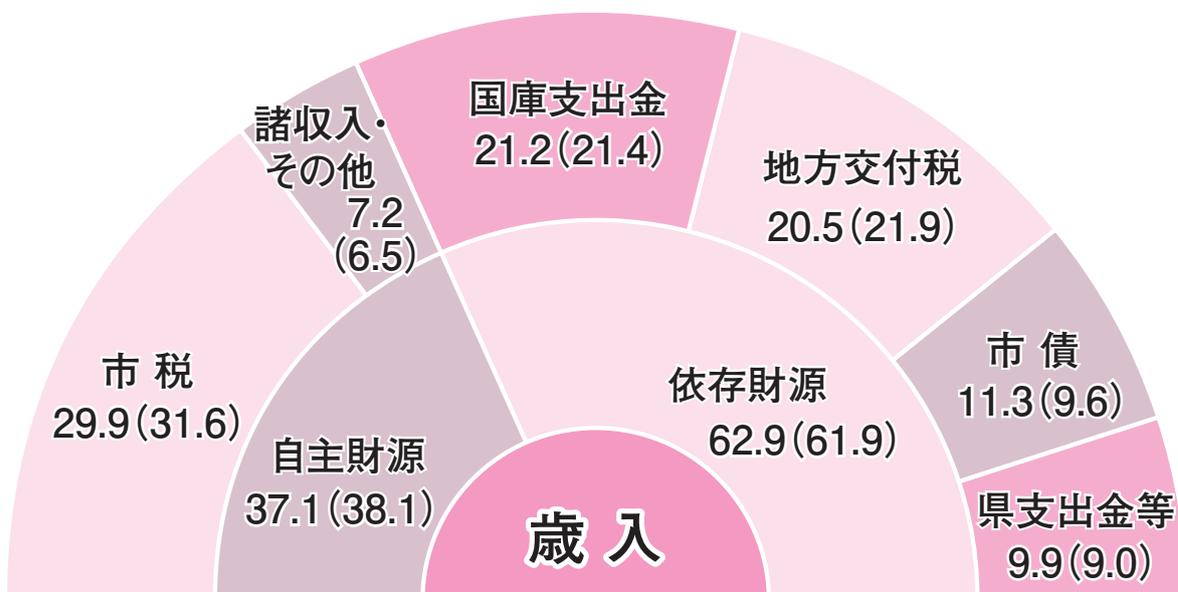
31,280円



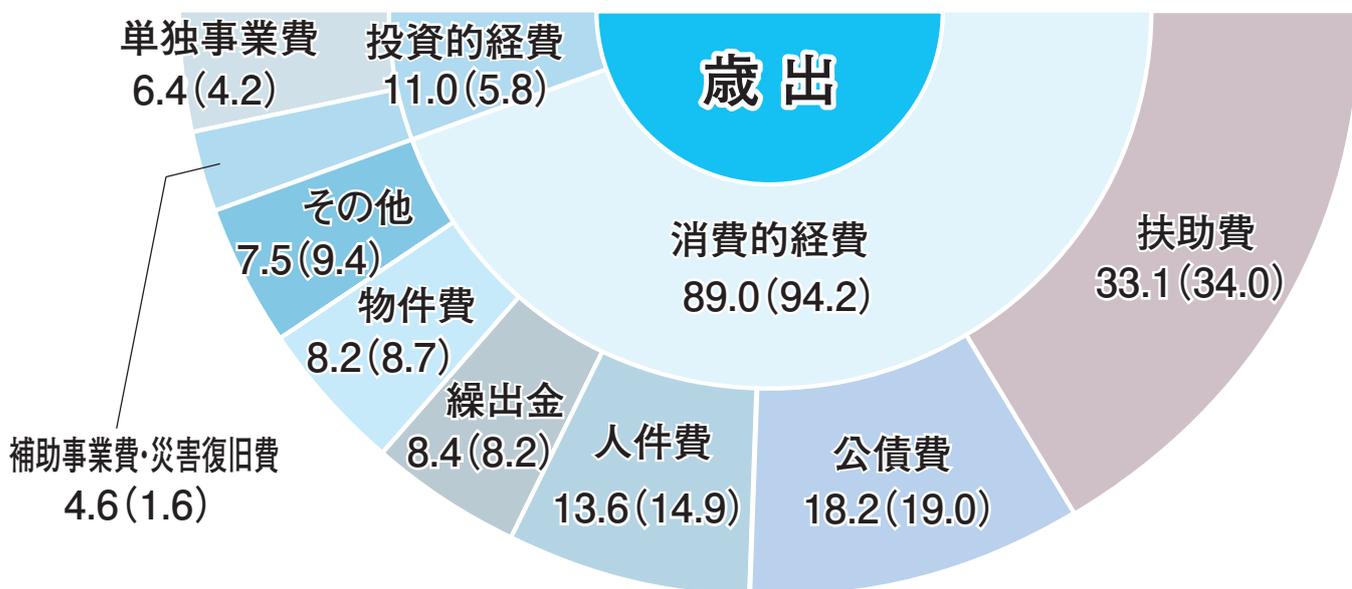
※一般会計のみで、特別会計、企業会計は含みません。

※人口は、H26.2.1現在の住民基本台帳人口

高知市 平成26年度一般会計予算



総額1,488億円 (1,387億円)



※ 数字は構成比%、()は平成25年度当初予算

平成26年度高知市予算の主な項目

1	共生の環 268億74万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然の理解と共生の環境づくり 1億2,267万円 ◆自然豊かなまちづくり 8億8,972万円 ◆環境汚染の防止 193億9,438万円 ◆共生文化の継承と創造 107万円 ◆減災対策の強化 2億2,900万円 ◆環境負荷の少ない循環型社会の形成 48億9,936万円 ◆地球温暖化防止への貢献 1億4,359万円 ◆平和を守り人権を尊重する社会づくり 5億8,447万円 ◆市民協働によるまちづくり 5億3,648万円
2	安心の環 519億1,697万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆いきいき安心の高齢社会づくり 100億2,958万円 ◆障害のある人が安心して暮らせる環境づくり 93億9,260万円 ◆安全安心の生活環境づくり 45億7,259万円 ◆安心して生活できる社会保障の充実 279億2,220万円
3	育みの環 337億9,138万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもを生き育てやすい環境づくり 237億1,389万円 ◆未来に翔る土佐っ子の育成 64億1,636万円 ◆いきいき学び楽しむ生涯学習・スポーツの環境づくり 30億2,190万円 ◆多様な文化を身近に親しむ環境づくり 6億3,923万円
4	地産の環 242億4,915万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆山間の恵みを活かす林業の振興 3,778万円 ◆大地の恵みを活かす農業の振興 16億3,654万円 ◆海川の恵みを活かす漁業の振興 6,399万円 ◆独創性あふれるものづくりの振興 10億4,389万円 ◆魅力あふれる商業の振興 12億748万円 ◆あったか土佐のおもてなし観光の充実 198億1,340万円 ◆いきいきと働ける社会づくり 4億4,607万円
5	まちの環 183億6,476万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆美しく快適なまちの形成 19億7,481万円 ◆にぎわう市街地の形成 4億1,440万円 ◆便利で快適な交通網の整備 34億5,340万円 ◆安全安心の都市空間整備 125億2,215万円
6	自立の環 8億6,213万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆さらなる広域連携・交流の推進 4,792万円 ◆持続可能で自立した行財政の基盤づくり 8億921万円 ◆住民による自治の環境づくり 500万円



■自然の理解と共生の環境づくりに1億2,267万円

◇環境学習の推進に308万円

- ・ 県森林環境保全基金を活用して森林や山に対する理解を深める森林環境教育推進事業に308万円を計上
- ・ 環境問題の広報・啓発活動として環境民権運動推進に19万円、保存樹木等助成に73万円措置

◇生態系の保護としてアニマルランド運営に1億1,815万円を計上

■自然豊かなまちづくりに8億8,972万円

◇森林の保全・整備に3,792万円

- ・ 民有林の保護育成に1,055万円、うち森林保全推進事業補助に30万円、造林支援事業補助に170万円、森林総合整備事業補助に500万円、森林整備地域活動支援に355万円を計上

- ・ 協働の森づくりに1,070万円、うち企業の支援による協働の森づくり事業に590万円を措置

- ・ 市民の森整備に700万円を計上

- ・ 市有林の適正管理に671万円、うち市有林造林事業に500万円を計上するとともに、県J-VER制度（オフセット・クレジット）を活用したCO2削減への取組に171万円を措置

- ・ 保安林の適正管理に296万円、うち防潮林整備に65万円、保安林環境保全事業に54万円を措置

◇里山の保全と再生に267万円

- ・ 里山保全啓発推進として120万円を計上

◇農地の保全に6,140万円

- ・ 遊休農地対策として6,114万円を計上。うち中山間地域農村集落活性化対策に6,098万円を計上

◇海洋・河川環境の維持・保全に321万円

- ・ 浦戸湾・7河川一斉清掃に107万円を計上
- ・ 鏡川清流保全対策に214万円を計上

◇みどり豊かな市街地づくりに7億8,451万円

- ・ 都市の緑化対策として5億9,931万円。うち花ストリート整備に1,300万円、花とみどりのまちづくりに700万円、花のよさこいタウン春花祭に536万円、新たに緑の基本計画策定に600万円を計上

- ・ 公園整備に1億2,220万円を計上

- ・ 公園遊園整備改良として、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる公園整備を推進していくための公園遊具の整備などに6,000万円を計上

- ・ 親水空間の形成として生きものにやさしい川づくりに300万円措置

■環境汚染の防止に193億9,439万円

◇公害対策の推進に1億2,219万円

- ・ 公害対策事業として、環境監視事業に109万円、大気汚染防止に2,963万円、水質汚濁防止に379万円、ダイオキシン類発生防止対策として287万円、アスベスト発生防止対策に25万円を措置

◇生活排水対策の推進に192億7,219万円

- ・ 公共下水道の面的整備等に34億9,500万円、うち北

江ノ口排水分区の雨水貯留管築造に11億円を措置
・単独下水道事業では、各処理区の管渠築造等に5億4,000万円を計上
・団地下水道の維持管理に1億5,002万円を措置
・浄化槽設置補助に6,486万円を計上し、浄化槽適正管理には446万円を計上

■共生文化の継承と創造に107万円

◇地域文化の再発見と継承と創造に66万円
・指定文化財保存に43万円を計上
◇食を通じた地域文化の継承と創造として、市民農園貸付事業に41万円を計上

■減災対策の強化に2億2,900万円

◇地域防災力の向上のために1億2,970万円
・自主防災組織育成強化推進に1億1,250万円、防災施設整備事業補助に1,100万円を計上
・防災人づくりに321万円、防災啓発の推進に299万円を措置
◇災害対応力の強化のために9,931万円
・災害情報の収集伝達として、防災行政無線のデジタル化整備に2,000万円を計上
・災害救助物資・資機材等の備蓄として、2,519万円を計上。うち防災資機材等の整備に400万円、毛布等の災害救助物資備蓄に979万円、避難所への簡易型トイレの設置に300万円、福祉避難所への資機材等整備補助として840万円を措置
・災害時要援護者の支援として1,000万円を新たに措置

■環境負荷の少ない循環型社会の形成に48億9,936万円

◇廃棄物の発生抑制・再利用の推進に3億1,347万円
・ごみの減量・再利用等に2億8,287万円。うち資源ごみ・不燃ごみ等の収集に2億1,962万円、水銀含有ごみ処理に1,878万円、特定家庭用機器再商品化推進に47万円、東部環境センターのし尿汚泥の堆肥化推進に815万円を計上するとともに、資源物等持ち去り防止パトロールに363万円を計上
・エコ産業団地の整備推進などエコタウン推進に1,479万円を計上
・まちを美しくする市民活動の推進に1,581万円を計上
◇廃棄物の適正な処理に45億8,589万円
・清掃工場整備に8億28万円
・プラスチック減容工場整備に700万円、最終処分場整備に800万円

・新クリーンセンター整備の建設工事等に8億8,800円
・一般廃棄物等適正処理のための収集処理体制の充実に25億9,153万円。うち可燃ごみ等収集に10億3,444万円、ごみ処理に10億6,722万円、し尿処理に3億2,631万円を計上
・一般廃棄物等の適正処理に1億1,064万円、うち魚さい適正処理施設の整備補助に3,568万円、ごみ適正処理対策に205万円を計上
・産業廃棄物等の適正処理に7,235万円を計上
・東部環境センター整備に6,500万円
・環境事業公社運営補助等に4,309万円措置

■地球温暖化防止への貢献に1億4,359万円

◇人にやさしい低炭素都市の実現に1億4,359万円
・地球環境への負荷低減として1億137万円を計上
・低炭素エネルギー活用の促進に4,222万円を計上

■平和を守り人権を尊重する社会づくりに5億8,447万円

◇憲法の意義を理解し平和を尊び守る社会づくりとして、平和の日記念事業費に105万円を計上
◇人権を尊重する社会づくりに5億637万円を計上。うち学校人権教育推進に1億9万円、社会人権教育推進に1億148万円、人権同和啓発推進に2億4,782万円、市民組織の育成・啓発に1,098万円を計上
◇男女共同参画社会づくりとして、男女共同参画推進事業、男女共同参画センター事業推進等に7,705万円

■市民協働によるまちづくりに5億3,648万円

◇地域コミュニティの活性化に3億7,827万円
・町内会連合会補助に493万円、地域安全事業補助に851万円、コミュニティ集会所等施設整備補助に500万円、コミュニティ施設等整備補助に250万円を計上するとともに、子どもまちづくり活動等に900万円を計上、新たに全国こどものまちサミット開催に300万円を計上
◇NPO・ボランティア活動の推進に2,203万円。うち市民活動サポートセンター運営に2,171万円を計上
◇情報共有の推進に9,717万円
・情報公開の推進に363万円
・あかるいまち発行に8,587万円、点字広報に367万円を計上、テレビ等の広報に400万円を計上
◇地域福祉の推進として、地域福祉活動推進に3,901万円を計上



■いきいき安心の高齢社会づくりに100億2,958万円

◇生涯現役のまちづくりに4,031万円、うち高知市老人クラブ連合会補助1,813万円、高齢者の生きがいづくり促進に1,940万円を計上

◇介護システムの充実に41億4,072万円

- ・介護サービスの質の向上に1,105万円を措置
- ・新たな取組としてこうち笑顔マイレージ推進など、介護保険事業の運営に対して一般会計からの負担41億2,967万円を計上

◇いきいき高齢者のまちづくりに57億3,330万円

- ・生活支援サービスの充実に3,902万円、うち在宅介護支援センター運営に272万円、日常生活用具給付等に52万円、緊急通報体制等整備に409万円、高齢者あんしん相談に56万円、軽度生活援助に14万円、高齢者等訪問理美容サービスに20万円、寝具洗濯乾燥消毒サービスに23万円、成年後見制度利用支援に25万円、生活支援ハウスの管理運営に1,445万円、高齢者共同生活住宅運営に37万円、外出支援サービスに462万円、高齢者緊急短期入所に20万円を計上、成年後見センター運営補助に1,067万円を措置

- ・介護支援事業に2,540万円、うち高齢者住宅リフォーム事業に928万円、生きがいデイサービスに773万円、地域交流デイサービスに839万円を計上

- ・福寿園の管理運営等に1,097万円

- ・高齢者保護施設費に5億3,031万円を措置

- ・老人福祉センターに7,068万円、うち新たに木村会館の整備構想検討に300万円を措置

- ・介護保険サービス低所得者対策に70万円を計上

- ・老人医療事業に38万円

- ・後期高齢者医療に50億5,583万円、うち後期高齢者医療広域連合負担に40億1,147万円、後期高齢者医療事業特別会計への繰出9億5,885万円、後期高齢者特定健康診査等に4,762万円、後期高齢者はり・きゅう・マッサージ施術助成に570万円を計上

◇その他の高齢者福祉に1億1,525万円

■障害のある人が安心して暮らせる環境づくりに93億9,260万円

◇障害のある人への支援に91億2,549万円

- ・難病対策に1億2,128万円、うち小児慢性特定疾

患治療研究、身体障害児育成医療、未熟児養育医療などの医療対策に9,667万円措置

・ 障害者医療助成に10億3,166万円、特別障害者手当等に1億2,500万円を措置

・ 在宅生活支援に81万円、うち障害者相談員費に80万円を計上

・ 自立支援に71億8,616万円、うち更生医療に11億188万円、補装具支給に7,800万円、自立支援給付に56億8,014万円、地域生活支援事業に3億499万円を計上

・ その他の障害者福祉の充実に6億6,058万円、うち心身障害児(者)扶養共済制度の加入者保険料補助に2,900万円、障害者支援施設の移転整備への補助に2億2,290万円を計上

◇社会参加への支援に2億928万円

・ 社会参加促進に1億5,196万円、うち地域生活支援事業に8,818万円、日常生活支援に3,081万円、心身障害者小規模作業所援護に1,950万円、障害者の芸術活動支援としてアール・ブリュット美術館運営補助に1,030万円を措置

・ 点字図書館に5,733万円、うち点字情報ネットワークに254万円、情報処理技術取得推進に51万円、ボランティアの育成に50万円、視覚障害者情報文化の推進に30万円

◇障害のある子どもへの支援に5,782万円

・ 子どもが地域で育つ時に生じる様々な問題の解決に向けて、発達支援や家族への支援等を行う子ども発達支援センター運営などに5,530万円を計上

・ 学校設備の整備など、学校教育での支援に252万円

■安全安心の生活環境づくりに45億7,259万円

◇生涯にわたる心身の健康づくり支援に16億331万円

・ 母子の健康づくりに4億8,170万円、うち妊婦一般健診、乳児一般健診、1歳6か月児及び3歳児健診等の健康診査に3億461万円、育児相談、育児学級、乳幼児育成指導等に247万円、不妊治療助成に6,382万円、生後4か月までの乳児のいる家庭への支援として、こんにちは赤ちゃん事業に1,548万円を計上

・ 成人の健康づくりに2億8,699万円、うち女性支援のためのがん検診、乳がん検診、大腸がん検診等の健康診査に1億3,876万円を計上

・ 理解と交流推進として、こころの健康づくりに

6,528万円、うち自傷他害の恐れのある精神障害者の措置事業、自殺予防の啓発等の精神保健に506万円、高知市精神障害者家族連合会等補助に7万円を計上

・ 食育による健康づくりに121万円を計上

・ 新たに口腔保健支援センターを設置するなど歯科保健の推進に372万円を計上

・ 予防接種の推進に7億863万円、うち日本脳炎、麻しん風しん混合、ポリオ、インフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌等の法定予防接種に6億6,941万円、高齢者肺炎球菌予防接種に1,844万円を計上

・ その他の健康づくり推進に5,578万円、うち健康教育、健康相談、訪問指導に397万円、国民栄養調査に62万円を計上

◇安心の地域医療体制づくりに24億9,940万円

・ 地域保健推進に717万円、うち衛生検査所指導、薬事等指導、医療安全支援センターの運営等の保健所事業に585万円、地域保健推進支援に50万円を計上



・地域医療体制の充実として医療体制整備に1億9,897万円、うち休日夜間急患センター、平日夜間小児急患センター運営や、小児・眼科の救急医療支援など救急医療体制等整備に1億9,617万円、災害医療救援活動推進に280万円を措置

・高知医療センターへの運営負担に21億648万円、土佐山地区のへき地診療所事業繰出金に1,779万円を計上

◇食の安全の確保に1億5,103万円

・食品安全推進、食品営業許可等指導、検査機器等精度管理などの食品保健に9,350万円を計上

・獣疫予防に5,752万円、うち食肉衛生検査に852万円、牛海綿状脳症検査に277万円を計上

◇衛生的な生活環境づくりに1億5,433万円

・衛生害虫等の駆除に3,774万円を計上

・動物の愛護として動物愛護推進に46万円、猫不妊去勢手術助成として223万円を計上

・監視指導の充実に54万円措置

・狂犬病予防対策に294万円措置

・公衆浴場施設への支援として300万円、小動物管理センター管理運営に2,333万円措置

◇健康危機管理体制と感染症対策の強化に8,357

万円

・結核・感染症対策に8,357万円、うち結核対策に1,486万円、結核予防に250万円、風しん対策や緊急肝炎ウイルス検査など、感染症対策に1,769万円を計上

◇消費者の権利の尊重と自立支援に8,095万円

・消費者行政強化事業に155万円を計上

■安心して生活できる社会保障の充実に279億2,220万円

◇低所得者福祉の充実に243億8,253万円

・生活保護に225億6,911万円、誠和園では施設運営等に2億5,658万円を計上

・住宅手当緊急特別措置に1,274万円を計上

・生活困窮者自立促進支援に3,700万円、臨時福祉給付金の支給に15億710万円を措置

◇国民健康保険の健全運営に一般会計からの繰出金32億2,529万円を計上

◇その他の社会保障の充実に3億1,438万円、うち中国残留邦人等生活支援に1億5,390万円、国民年金に5,372万円を計上

・民生委員協議会補助等に1億171万円を計上





■子どもを生き育てやすい環境づくりに237億1,389万円

◇子育て支援の充実に236億2,761万円

- ・子育て家庭支援として児童手当に53億4,176万円、乳幼児医療助成では一定所得未満の子育て世帯に対し支援の拡充を行うなど5億6,104万円を計上、うち入院に1億5,160万円、通院等に3億8,990万円を計上、助産施設措置に4,130万円、要保護・準要保護児童生徒対策に4億6,152万円、幼稚園就園奨励に2億2,096万円、子育て世帯臨時特例給付金に4億2,357万円を措置
- ・ひとり親家庭支援として児童扶養手当に22億699万円、災害遺児手当に72万円、ひとり親家庭医療費助成に2億9,870万円を計上
- ・母子生活支援施設に4,086万円を計上。うち母子生活支援施設の措置費として3,702万円、民間母子生活支援施設「ちぐさ」の整備補助として384万円を措置するとともに、母子・寡婦・父子福祉対策としては、母子家庭就業・自立支援センター運営に458万円、母子家庭高等職業訓練促進給付に1億932万円、母子自立支援プログラム策定事

- 業に61万円を計上するなど1億1,985万円を措置
- ・子育て世帯へのさらなる支援として、保育入所第2子の保育料の無料化など保育サービスの充実に99億3,129万円を計上。うち民間保育所運営に59億342万円うち保育士等処遇改善推進に1億3,885万円、市立保育所運営に30億2,625万円を計上のほか、障害児加配保育士雇用補助に2億1,270万円、延長保育促進事業補助に1億9,272万円、早出居残りパート職員雇用補助に5,870万円、一時保育促進事業補助に1,732万円、ほのぼの保育に1,600万円、家庭支援推進保育に4,445万円、認可外保育施設運営補助に2億1,212万円、認定こども園事業補助に1億9,109万円、小規模保育施設運営事業補助に3,120万円を新たに措置
- ・幼児教育の振興として6,329円を計上。うち心身障害児の就園する私立幼稚園に対する補助として1,750万円、新たに幼稚園長時間預かり保育事業補助に367万円を措置
- ・放課後子どもプランの充実に7億9,635万円を計上。うち放課後児童クラブの運営に6億46万円、放課後子ども教室の運営に1,424万円、小学4年



生から6年生を対象とした放課後学習室運営に3,200万円措置、新たな放課後児童クラブの整備に8,800万円を計上

- ・ 保育所施設整備に24億6,489万円を計上。うち民間保育所施設整備では、愛育会保育園改築事業補助に2億6,109万円、新たに塚ノ原保育園など5園の保育所等の改築事業補助に9億1,007万円、民間保育所耐震診断事業補助に268万円を計上、市立保育所施設整備では、大津保育園改築設計に2,000万円、旭保育園改築に4億4,000万円を計上。

- ・ 母子寡婦福祉資金貸付事業に2億3,000万円
- ・ 心身障害児福祉年金に137万円
- ・ その他の子育て支援に4億1,017万円を計上、うち子ども・子育て支援事業計画準備に320万円、システム構築に3,121万円を計上

- ◇ 子どもを大切に育てるまちづくりに8,629万円
- ・ 子育て支援拠点事業として母子生活支援施設に724万円、健康福祉センター2か所に1,586万円、民営保育所5園等に設置する地域子育て支援センター事業に2,712万円を計上するとともに、子育て支援拠点施設補助として「はるの・わくわくぼけっと」に400万円を措置

- ・ 保育と仕事が両立できるよう変則的な保育二一

ズ等に対応するファミリー・サポート・センター事業に1,300万円、親子絵本ふれあい事業に108万円、子ども家庭支援センターの事業運営に154万円、養育支援訪問事業に781万円措置

- ・ 児童虐待予防に340万円を計上

■未来に翔る土佐っ子の育成に64億1,636万円

- ◇ 心と体の健やかな成長をめざした支援の充実に1億1,732万円

- ・ 長期欠席・不登校対策に2,477万円を計上。うち教育相談事業に1,503万円、不登校対策総合支援に169万円を措置

- ・ 心の教育推進では、心のふれあい支援事業に465万円、学校カウンセラー推進事業に2,421万円措置のほか、新たにいじめ問題対策の推進に67万円を措置

- ・ 食育の推進として小中学校食育・地場産品活用推進に100万円を計上

- ◇ 確かな学力をつけるための授業改革に2億2,547万円

- ・ 基礎学力の定着と学力の向上に2億1,274万円措置、児童生徒の学習支援として学習チューター派遣事業に228万円、放課後学び場づくり推進事業に163万円、中学校学習習慣確立推進事業に7,234

万円、高知チャレンジ塾の運営に3,323万円、図書館教育の充実支援員の配置に9,504万円を計上のほか、新たに授業改善推進に140万円、小一プログラム対策に80万円を計上

・教職員の資質・指導力の向上に1,273万円を計上。うち教職員研修推進に166万円、中核市教育委員会教職員研修に571万円を計上

◇子どもたちの進路を保障する指導に207万円

・進路指導の充実として児童生徒自立支援教室運営に207万円措置

◇組織として機能する学校づくりに7,936万円

・活力ある学校づくりとして7,826万円を計上。うち国際理解教育推進に5,731万円、小学校における外国語活動推進に1,277万円、学校個性化推進に745万円を計上するとともに、新たに外国語教育推進プラン実践に40万円を措置

・開かれた学校づくりとしてシニアネットワーク推進に69万円を計上するとともに、中一ギャップの解消などを目的とした高知市コミュニティ・スクールの推進に41万円を計上

◇教育環境の充実を図るための施設整備に17億7,881万円

・学校施設整備として8億5,001万円を計上。うち土佐山小中学校統合整備、グラウンド整備に3億3,000万円、江陽小学校屋内運動場改築に1億7,500万円を計上するとともに、新たに養護学校増築に1億4,600万円、食料品や飲料水など学校備蓄品整備として1,144万円を計上、その他の施設整備として、小学校施設整備に6,137万円、中学校施設整備に7,000万円、商業高校整備に232万円、養護学校の整備に100万円、かがみ幼稚園の施設整備に100万円措置

・学校施設耐震化に9億2,880万円を計上。うち耐震補強整備として小学校3校3棟、中学校3校4棟の耐震化対策に8億5,300万円を計上、うち小学校7棟7棟、中学校1校1棟の耐震補強設計等に7,580万円措置

◇青少年を守り育てるまちづくりに1億4,744万円

・青少年健全育成に1,179万円を計上
・青年センター事業に3,223万円、補導センター事業に4,573万円を計上
・工石山青少年の家に5,769万円、うち新たに耐震補強推進580万円を措置

◇高等学校教育の充実として商業高校教育事業に6億8,616万円を計上、うち新教育課程推進に134

万円を計上

◇その他の学校教育事業に33億7,974万円

・教育指導運営等事業に9億9,880万円。うち教育研究奨励事業に288万円、いきいき土佐っ子育て事業に616万円、奨学資金に7,300万円、学校における道德教育の充実を図る道德教育重点推進事業に70万円、教育課程拠点校事業に100万円、学校教育情報化システム管理に1億5,871万円を措置のほか、教員補助員配置事業に5,952万円を計上

・小学校教育事業に18億2,567万円、うち学校教材整備に1億4,792万円、学校図書整備に2,828万円、給食業務等の委託に2億9,380万円を措置

・中学校教育事業に4億8,351万円、うち学校教材整備に1億971万円、学校図書整備に1,552万円を措置

・養護学校等教育事業に7,176万円、うち学校教材整備に1,043万円、学校図書整備に29万円を措置

■いきいき学び楽しむ生涯学習・スポーツの環境づくりに30億2,190万円

◇生涯学習の推進に21億2,934万円

・公民館事活動の推進に1億1,397万円を計上
・図書館機能の充実では、移動図書館事業に1,374万円、子ども科学図書館事業に533万円を計上するとともに、新図書館等複合施設建設に13億8,400万円を計上のほか、新たに移動図書館整備



に3,000万円、潮江市民図書館の耐震診断に380万円を措置

◇生涯スポーツの推進に8億9,257万円

・スポーツ活動推進として9,423万円、うち運動部活動等推進に512万円、スポーツ推進委員研修事業に134万円、高知市スポーツ賞の推進に24万円、総合型地域スポーツクラブ育成に11万円、障害者スポーツ活動推進に9万円、指導者養成・各種大会等推進事業に6,943万円、高知龍馬マラソンの開催に1,000万円計上するとともに、全国中学校体育大会に743万円を新たに計上

・学校体育施設開放に1,759万円を計上

・総合運動場に4億2,011万円を計上、うち社会体育施設の管理、各種スポーツ教室の開催、体育団体の指導等の運営補助として3,373万円、施設整備に4,600万円を計上

・東部総合運動場の施設管理に2億1,171万円を計上、野球場改修など施設整備に6,700万円を計上のほか、多目的ドームの整備に3,200万円を新たに措置

・針木運動公園の管理運営に343万円、城ノ平運動公園の管理運営に706万円、土佐山運動広場の

管理運営に199万円、西川複合集会所の管理運営に6万円、春野スポーツ施設の管理運営に191万円、ヨネツこうちの管理運営に3,547万円を計上

■多様な文化を身近に親しむ環境づくりに6億3,923万円

◇芸術文化施策の推進に4億760万円

・文化プラザの管理運営や財団の自主事業の開催など文化プラザ事業に3億927万円を計上

◇「横山隆一記念まんが館」を核としたまんが文化の振興に5,374万円

・まんが館事業に4,669万円を計上するとともに、「まんさいーこうちまんがフェスティバル」活性化に200万円を措置

◇文化財保護と郷土の歴史学習の推進に1億7,788万円

・自由民権記念館事業に1億3,487万円を計上

・文化財保護に2,327万円、うち竹林寺庭園保存整備に30万円を措置

・埋蔵文化財調査に573万円を計上

・市史の編さんに949万円を計上





■山間の恵みを活かす林業の振興に3,778万円

◇林業の基盤整備に3,778万円

- ・ 林道維持・整備として3,406万円、うち林道開設改良に310万円、林道舗装事業に2,000万円を計上
- ・ 林業施設の災害復旧に150万円措置

■大地の恵みを活かす農業の振興に16億3,654万円

◇農業の基盤整備に5億9,759万円

- ・ 土地改良事業として1億2,059万円を計上。うち市単土地改良事業に6,500万円、土地改良施設適正化事業負担等に4,726万円計上
- ・ 農道水路維持整備事業として1億4,093万円を計上。うち農道用排水路維持管理事業交付金に3,618万円、春野広域農道整備に8,500万円、緊急防災土地改良浚渫として800万円を計上
- ・ 機場維持・整備に3億2,307万円を計上。うち機場整備に1億9,500万円を計上するとともに、春野仁ノ地区排水対策事業として3,000万円を措置
- ・ 農業土木施設災害復旧事業として1,300万円措置

◇域内外への安定供給を可能とする産地づくりに1億2,381万円

- ・ 園芸産地の育成に1億2,249万円を計上。うち営農支援事業補助に270万円、園芸農業レンタルハウス整備事業補助に旧高知市域2,478万円、春野地域9,451万円を計上、農産物輸出促進事業補助に50万円を計上、地産地消の推進として地場産品活用推進に27万円を計上

・ 畜産農家の育成に70万円

◇農業の担い手の確保と育成に5,702万円

- ・ 農家育成・後継者対策として3,606万円を計上。うち農業経営基盤強化促進に3,198万円、農業後継者対策事業補助に75万円を計上するとともに、新規就農者への支援として就農研修支援事業補助640万円を計上
- ・ 集落営農等の推進としてこうち農業確立総合支援事業補助1,456万円を計上

◇地域特性を活かす特色ある農業の展開に7,085万円

- ・ 中山間農業の活性化として4,000万円を計上。うち中山間農業活性化事業に100万円、ユズ産地化対策事業補助に100万円、飲料水供給施設整備に330万円、夢産地とさやま開発公社公益事業補助に2,000万円を計上
- ・ 新たな水田農業への取組では、経営所得安定対策推進に1,348万円を計上

- ・ E C O 農業の推進に712万円、うち有機市民農園管理運営に134万円、農業用廃プラスチック処理推進として回収処理費の一部助成に168万円、環境保全型農業推進事業補助に192万円措置
- ・ 鳥獣被害緊急対策としてサル・イノシシ捕獲報償金等に1,026万円を措置
- ◇その他の農業振興対策に7億8,728万円
- ・ 農業集落排水事業に3億1,600万円を計上

■海川の恵みを活かす漁業の振興に6,399万円

- ◇漁業競争力・経営体の強化に1,077万円
- ・ 漁業生産力の強化として、豊かな海の幸づくり推進事業補助に23万円、淡水魚増殖に350万円を計上、漁業経営対策に504万円を措置
- ・ 漁港の災害復旧に200万円
- ◇その他の漁業振興対策に5,322万円
- ・ 春野地区漁業振興事業補助に360万円、春野漁港の施設整備等に2,400万円を計上

■ 独創性あふれるものづくりの振興に10億4,389万円

- ◇地場企業の飛躍に向けた支援に2,349万円
- ・ 県外での各種商談会への地場産品等の出展費用助成等の地場産品販路拡大推進に100万円、地場産品の付加価値や高知ブランド力を高め地産外商を推進するため、見本市への出展に対する助成等に360万円を計上、新市場開拓支援事業に760万円、ものづくり受注拡大支援事業に132万円を計上
- ・ 商工業指導団体等補助に889万円を措置
- ◇企業誘致の推進に10億2,041万円
- ・ 操業・起業の促進として企業立地助成金に1億8,000万円を計上
- ・ 産業立地推進に8億3,800万円、うち一宮産業団地開発に6億4,800万円、一宮産業団地の公共施設整備に800万円、新たな産業団地整備調査に3,000万円を計上

■魅力あふれる商業の振興に12億748万円

- ◇地域特性を活かした商業集積の形成に2,607万円
- ・ 産業活性化共同事業補助380万円、TMO事業推進などの中心商店街等活性化推進に300万円、中心市街地等の空き店舗利用の新規創業者等に対する空き店舗活用支援に300万円、中央公園で年末年始に開催するイルミネーションフェスタに

- 120万円、まちあるき促進として15万円を措置
- ・ 近隣商店街の活性化に20万円
- ・ 街路市の振興に1,473万円、うち街路市活性化構想策定に350万円を新たに計上
- ◇経営力の強化に1億4,416万円
- ・ 経営力強化の支援として制度融資預託に8,016万円を計上
- ◇流通基盤の強化に8億300万円
- ・ 流通基盤の強化として市場事業に8億300万円を計上。うち、駐車場などの市場施設整備に1億6,200万円を計上

■あったか土佐のおもてなし観光の充実に198億1,340万円

- ◇新たな観光魅力の創造に180億6,486万円
- ・ 観光資源の磨き上げと創出では、あったか土佐おもてなし観光として、観光案内標識の多言語化に90万円、龍馬の言葉プロジェクト事業に145万円、新たに龍馬生誕180年記念準備に50万円、原宿スーパーよさこい連携PRに500万円、観光プロモーション映像制作に200万円、観光客満足度調査に200万円、四国霊場開創1200年観光PRに170万円など1,450万円を計上、龍馬の生まれたまち記念館の管理運営に2,285万円を計上のほか、よさこい情報発信としてよさこい情報交流館運営に3,101万円、桂浜公園整備構想検討に500万円を計上
- ・ 祭り・イベントの充実とコンベンションの振興では、大会等歓迎事業に150万円、よさこい祭り補助800万円、土佐のまつり補助に752万円、プロ野球キャンプ対策強化に1,000万円、プロゴルフトーナメント開催支援に257万円を計上、スポーツ合宿への支援に200万円を計上
- ・ 観光協会事業に9,700万円、うち観光協会が実施するよさこい全国大会、納涼花火大会、龍馬まつり、高知城花回廊など観光客誘致事業補助に6,877万円、よさこいシリーズ観光宣伝など観光宣伝事業補助に1,520万円、観光案内所運営、よさこい情報交流館でのよさこい披露など観光客受入事業補助に1,116万円を計上
- ・ 客船寄航誘致として433万円を計上
- ・ 収益事業に177億1,400万円
- ◇観光客誘致と情報発信に9,453万円
- ・ 観光プロモーションの推進として、よさこいシリーズ観光宣伝に206万円、原宿で開催されるスーパーよさこいへの参加に対する助成として

100万円を措置

◇まごころ観光の充実に16億5,400万円

・受入態勢の充実として、観光周遊バス運営補助に1,000万円、桂浜ゴールデンウィーク等渋滞対策に800万円を計上

・国民宿舎運営事業に16億3,600万円を計上

■いきいきと働ける社会づくりに4億4,607万円

◇地域における雇用創出に3億1,965万円

・若年失業者、新卒就職未内定者を対象としてスキルアップ研修等を行う若者就職応援に457万円、新たな就労支援員の配置とともに市独自の雇用の発掘や就職の斡旋を行う無料職業紹介事業等に269万円を計上したほか、自発的な雇用創造事業に対して国が支援する事業である地域提案型雇用創造促進事業に1,056万円を措置

・緊急雇用創出事業に56万円、市単独の雇用対策として1,100万円を計上、うち動物広場ふれあい事業に208万円、花ストリート整備に472万円、

環境美化・ごみ減量に420万円を計上するとともに、県の補助制度を活用した産業振興推進ふるさと雇用事業補助に9事業・8,028万円を計上、国の交付金による起業支援型雇用創造事業に1億1,000万円、地域人づくり雇用拡大事業に1億円を新たに計上

◇キャリア教育の推進に137万円

・中学生体験活動推進に37万円、様々な社会人を講師として招聘し、進路学習を充実させるキャリア教育の推進に100万円を計上

◇労働環境の整備に1億2,505万円

・高知勤労者福祉サービスセンターの貸付預託に6,500万円、運営補助に1,394万円、加入者の拡大を図る加入促進事業に28万円を措置

・高年齢者就業機会確保事業等補助に2,072万円、こうち勤労センター改築事業利子補助に83万円、勤労者交流館の管理運営に959万円を計上、シルバー人材センター企画提案型事業補助に390万円を計上





■美しく快適なまちの形成に19億7,481万円

◇バランスの取れた都市の形成に16億3,445万円
 ・都市基盤整備として、都市計画基礎調査に493万円、新たに低・未利用地有効活用基礎調査に300万円、国土強靱化モデル事業推進に2,000万円を措置

・良好な市街地の形成のため、旭駅周辺市街地整備に9億7,900万円を措置、うち住宅市街地総合整備に4億8,123万円、下島土地区画整理に2億8,841万円、中須賀土地区画整理事業に1,546万円、旭町2丁目都市再生住宅建設に1億9,390万円を計上

・住居表示の推進に2,430万円
 ・都市と農山村交流の推進として4億1,208万円を計上、うち新たに市域全体の移住・定住促進に400万円、中山間地域の移住・定住促進に405万円、中山間地域活性化住宅整備に2億2,000万円を計上、鏡文化ステーションR I Oの管理運営、整備に1,319万円、鏡吉原ふれあいの里の管理運営、整備に267万円、土佐山夢産地パーク管理運営等に977万円を計上

◇良好な景観の形成に1,793万円

・景観形成推進のため、幹線市道清掃に1,609万円、景観形成誘導助成などに184万円を計上

■にぎわう市街地の形成に4億1,440万円

◇都市中心核の形成促進に800万円
 ・中心市街地の活性化として中心市街地活性化計画推進に800万円を計上

◇中心市街地の回遊性の向上に3,050万円
 ・交通バリアフリーの推進に600万円を計上
 ・交通アクセスの向上として、自転車等放置防止対策に1,417万円、駐輪場管理に1,032万円を計上

◇街なか居住の推進に3億7,590万円
 ・市街地中心部への居住推進や高齢者の居住の安定に向けて、優良賃貸住宅推進に6,000万円、帯屋町二丁目地区優良建築物等整備事業補助に3億1,590万円を措置

■便利で快適な交通網の整備に34億5,340万円

◇広域交通ネットワークの強化に2,306万円
 ・交通ターミナルの充実として、はりまや橋観光バスターミナル管理運営に1,696万円、高知駅前広場管理運営に372万円を計上

・交通施策の推進に238万円を計上

◇都市交通の円滑化に16億3,630万円
 ・街路整備に5億1,230万円を計上し、上町2丁目南城山線鴨部工区、旭町福井線第3工区の2路線2工区の街路を継続して整備するほか、新たに県施行による（仮称）高知駅秦南町線街路整備に

1,630万円を措置

・道路新設改良に4億400万円を計上、長浜2号線、旭街2号線、秦12号線など5路線を継続して整備するほか、新たに大津1号線、一宮533号線1号橋を整備、過疎地域道路整備として鏡10号線、土佐山3号線ほかを継続して整備

・橋梁整備に3,700万円を計上、うち過疎地域橋梁整備に200万円を計上

・生活道路改良に4億1,500万円、道路舗装に2億2,400万円、道路網再編成に4,400万円を計上

◇公共交通の再生と活性化に1億2,339万円

・公共交通対策として鉄道軌道輸送対策事業補助に1,080万円、廃止代替バス運行助成に8,454万円を計上するほか、公共交通利用啓発として公共交通利用推進に91万円、地域公共交通推進に650万円、高齢者公共交通利用促進事業補助として200万円などを計上するほか、新たに朝倉地域のサイクルアンドライド環境整備として1,800万円を計上

◇その他の交通対策として駐車場事業等に16億7,065万円

■安全安心の都市空間整備に125億2,215万円

◇災害に強い都市基盤の整備に7億5,582万円

・がけくずれ対策推進として住家防災対策に3,600万円を計上

・都市下水路整備に1,600万円、維持管理に1億6,185万円を計上、河川水路等整備として市単河

川水路整備に6,000万円、市単河川水路浚渫に7,000万円、排水機新設改良に3,500万円、市単河川浸水対策に1,800万円を計上

・河川水路維持管理に1億9,236万円

・市道の災害復旧に600万円を措置

・防災公園の整備に1,000万円

・地籍調査の推進に1億3,562万円を計上

・その他の防災対策として、道路雨水枡清掃に800万円、緊急防災道路整備に700万円を措置

◇南海地震対策の推進に16億2,590万円

・住宅の耐震診断・耐震改修等に助成する木造住宅耐震化等に1億8,603万円を計上、うち老朽住宅除却事業補助に1,600万円、住宅塀改修推進に700万円を新たに措置

・津波防災対策事業に8億1,062万円を計上、うち防災マップ作成、海拔表示板、津波避難ビルへ資機材整備など津波防災対策に7,000万円、津波防災避難路等整備に7億円を計上するほか、農業用タンク津波対策事業補助に3,600万円を新たに計上

・橋梁耐震対策に4,700万円を計上、うち橋梁震災対策事業に4,500万円を措置

・市有建築物耐震対策として、土佐山庁舎の耐震補強整備に8,500万円、鏡庁舎の移転整備に280万円を計上

・本庁舎の耐震対策として新庁舎の建設に3億6,876万円を計上

・震災対応力強化対策として、家具転倒防止対策



や避難所井戸の設置など南海地震対策事業に400万円、防災教育推進地域指定、防災キャンプなどに287万円を計上のほか、災害対応型給油所整備補助に480万円、宿泊施設耐震対策緊急促進事業補助として1億258万円、職員等の防災士育成に263万円、救急救命講習に157万円を計上するほか、新たに災害廃棄物処理構想検討に400万円、東部環境センター機能調査に300万円を計上

◇消防・救急体制の強化に44億2,794万円

・常備消防に30億4,537万円を計上。うち消防無線システムの管理運営に1,068万円、救助隊強化推進に544万円を計上するとともに、緊急消防援助隊等活動体制整備に450万円を措置

・非常備消防に1億8,073万円を計上。うち消防団への装備品等の緊急整備に2,000万円を措置

・消防施設整備として、小型動力ポンプなど消防資機材整備に250万円、災害時の消防水利確保のための防火水槽や消火栓設置に9,584万円を計上するとともに、防災拠点整備として（仮称）南部分署建設に7億6,000万円、（仮称）北消防署の基本構想策定に250万円、布師田、春野南分団屯所建設に1億1,100万円など9億7,684万円を計上

・消防車両整備として1億9,500万円、高規格救

急車の導入に3,000万円を計上

◇多様で良質な市営住宅ストックの形成に4億6,953万円

・既存市営住宅の改善に2,039万円、市営住宅整備、除却に1億781万円を計上するほか、新たに市営住宅の再編に1,800万円を措置

◇交通安全対策の推進に1億4,833万円

・交通安全施設整備では、カーブミラーやガードレール、安全柵の設置等に7,100万円を計上

◇水道ライフラインの強化に48億5,796万円

・上水道事業として、送配水施設整備事業に2億1,433万円、漏水防止対策事業に3億1,675万円、災害対策事業として送水幹線の二重化や基幹施設の耐震化、非常用貯水槽設置などに25億3,527万円を計上するほか、増補改良事業に16億9,010万円、簡易水道施設改良に9,160万円、仁淀川・鏡川水系の水源林地取得や水源地域との交流事業に991万円を計上

◇墓地等の整備に2億668万円

・市有墓地の管理運営に3,876万円を計上

・斎場の管理運営に1億6,792万円を計上、うち新たに斎場整備構想検討事業に200万円を計上

◇その他の居住空間の整備に3,000万円





■さらなる広域連携・交流の推進に4,792万円

◇広域行政の推進に3,000万円

・行政間の連携・交流として、仁淀川流域交流に59万円、新たに全国都市問題会議開催に1,200万円を措置

・定住自立圏の形成推進に1,672万円、うち定住自立圏による観光振興事業に1,600万円を計上

◇多様な主体との連携・交流に1,793万円

・姉妹・友好都市交流として、外国青年国際交流員招致に1,046万円、自治体職員協力交流に239万円、国際交流事業補助に45万円、北見市姉妹都市交流事業補助に15万円、姉妹・友好都市教育交流推進に180万円を計上するほか、フレスノ市姉妹都市との交流記念として268万円を計上

■持続可能で自立した行財政の基盤づくりに8億921万円

◇効率的で信頼される行政運営に9,264万円

・外部監査制度の推進に1,080万円を計上

・職員研修に1,912万円、うち接遇等の一般・特別研修に176万円、自治大学校等への派遣研修に843万円、部局研修に594万円を計上するとともに、

職員の能力や意欲の向上を図ることを目的とした自主企画型派遣研修事業に300万円を措置

・自治体コールセンターの運営に5,472万円を計上

・公共施設マネジメント推進に800万円を新たに措置

◇情報化の推進に7億1,658万円

・電算管理に7億1,658万円を計上

■住民による自治の環境づくりに500万円

◇地域コミュニティの再構築に500万円



2014年度

高知市の予算概要

希望と絆を未来につなぐ高知市をめざして